



2011年9月13日

各 位

東京都品川区南大井六丁目 25 番 3 号  
日本通信株式会社  
代表取締役社長 三田 聖二  
(コード番号: 9424)  
問合せ先 代表取締役専務 CFO 福田 尚久  
電話 03-5767-9100 (代表)

### 日本通信、J ストック銘柄に

日本通信株式会社 (以下、「当社」という) は、本日、大阪証券取引所より、J-Stock Index (以下、「J ストック」という) の銘柄として選定された旨、通知を受けましたので、お知らせいたします。

J ストックは、新聞の株式欄において、業種ごとに列挙されている銘柄とは別に、冒頭に J ストック銘柄として掲載されており、ジャスダック市場を代表する銘柄として扱われています。

J ストックの選定基準は、時価総額と流動性に基ついています。具体的には、基準日より遡って直近 1 年間の売買代金の合計額の上位 200 位に入っていて、かつ基準日時点における時価総額が 100 億円以上の株式で、選定銘柄の上限は 100 銘柄となっています。なお、今回選定された銘柄は当社を含めて 71 銘柄で、10 月 3 日 (月) 付で J ストックの構成銘柄となります。

一般に機関投資家は、インデックスに基づく投資ポートフォリオを運用しています。このたび当社株式は、J-Stock Index に選定されたことで、当社株式を個別銘柄として投資していた従来の機関投資家に加え、J ストックにインデックス投資している機関投資家が、個別銘柄を意識することなく結果的に当社株式に投資しているという場合が増加することが見込まれます。

日本通信株式会社の代表取締役社長 三田聖二は、次のように語っています。

「日本通信は、2005 年の上場後、世界初の携帯網開放を実現し、昨年度第 3 四半期に黒字転換、イオンやソニーを始めとする多彩なパートナー企業に恵まれ、積極果敢に事業展開を進めています。この度、ジャスダック市場を代表する銘柄として J ストックに選定されたことは、市場やお客様からのサポートの賜物と感謝申し上げます。引き続き、次世代インターネットの環境づくりに必要なチェンジを仕掛けてゆく所存です。」

#### ■日本通信について

1996 年 5 月 24 日、日本通信は新たなモバイルサービス事業のあり方を提示するため生まれました。それから 13 年の歳月を経て、2009 年 3 月、NTT ドコモとの相互接続により「MSO 事業モデル」を完成させ、それから 2 年弱でこのモデルの収益性を実証しました。ネットワークを効率的に運用する当社独自の先端技術やリアルタイムの認証技術などによって、ユニークな通信サービスをつくりだし、自社 b-mobile ブランド製品をお客様に提供する MVNO 事業、及びメーカーやインテグレータ他のパートナー企業に提供する MVNE 事業を展開しています。

MSO=Mobile Service Operator